

# 八代の宝から世界の宝へ 妙見祭を彩る人たち

「八代妙見祭の神幸行事」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたことを記念して、40ある出し物と祭りを彩る人たちの思いを紹介します。



## 16 火王・水王・風王

神事の占いでその順番が決まり、翌年の天気を告げます。

赤の「火王」は晴れが多い年。緑の「水王」は雨の多い年。黒の「風王」は風の強い年になるといわれています。

三色の天狗のお面は、猿田彦神です。

なぜ天狗なのかは古事記に容姿が記されており、鼻が長く、天狗と似ているからです。

### 西片町 上村 浩さん

初めて参加しましたが、見ると技術が求められます。今後とも代々伝えていかなくはならないと思いました。

## 17 奏楽大太鼓

## 18 奏楽

奏楽は、大太鼓・箏・横笛で構成され越天楽を奏でています。

楽譜はなく大太鼓の奏者がリードし、他の奏者は大太鼓の流れに合わせて型を奏じます。場合によっては笛奏者がリードする役割をもつこともあります。必要となるため、奏者は鍛錬

必要となるため、奏者は鍛錬

### 西片町 村上 浩市さん

ユネスコ無形文化遺産の登録は名誉なこと、一員として参加できて誇りに思います。今後も妙見祭をみんなで盛り上げていきたいです。

### 千丁町 吉野 俊嗣さん

以前参加したときは雨に降られたりして大変な時もありました。

ユネスコ無形文化遺産に登録され、うれしかった。今後は県内外問わず、たくさんの人にきてほしいです。

## 19 四神旗

中国神話の中で天の四方の方角を司る霊獣であり、東の青龍・南の朱雀・西の白虎・北の玄武を表したものです。

妙見さんは北斗信仰が元、その神様が乗ってきたとされる亀蛇は北を守る聖獣「玄武」なのです。

奈良の高松塚古墳での壁画にもその姿は北斗七星と共に描かれています。

### 西片町 森田 亨さん

実際に参加してみても身が引き締まる思いでした。今後は、世界中から観光客に来てもらいたいです。

## 20 紙幣

絵巻から復元されました。紙で作られた大きい御幣のようなものです。絵巻では金幣も使用されていました。

昔は紙や布は貴重で、感謝のために木に挟み捧げたことから依代となっていたとされています。

妙見祭は憧れでもあったので参加できてうれしいです。

### 西片町出身 岩下 公之さん

ユネスコ無形文化遺産に登録されたので、今後も長く続いてほしいです。

- 1
- 獅子
- 2
- 花奴
- 3
- 木馬
- 4
- 鉄砲
- 5
- 毛槍
- 6
- 白和幣
- 7
- 籠
- 8
- 笠鉾刺童
- 9
- 神馬
- 10
- 神馬奉行
- 11
- 甲冑武者
- 12
- 大麻
- 13
- 大太鼓
- 14
- 神官
- 15
- 阿須波神
- 16
- 火王・水王・風王
- 17
- 奏楽大太鼓
- 18
- 奏楽
- 19
- 四神旗
- 20
- 紙幣
- 21
- 三矢
- 22
- 対の槍
- 23
- 御太刀
- 24
- 神輿
- 25
- 長刀
- 26
- 紫髯
- 27
- 首翳
- 28
- 立傘
- 29
- 齋王
- 30
- 笠鉾本蝶蕪
- 31
- 笠鉾蘇鉄
- 32
- 笠鉾西王母
- 33
- 笠鉾狸々
- 34
- 笠鉾蜜柑
- 35
- 笠鉾恵比須
- 36
- 笠鉾松
- 37
- 笠鉾迦陵頻伽
- 38
- 流錫馬
- 39
- 龜蛇(ガメ)
- 40
- 飾馬(花馬)